

教育学研究科博士課程入学試験を受験予定の皆様へ

オンライン試験に関する案内

令和4（2022）年度の博士課程入試は、新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢の変化を受け、オンライン試験方式で実施することとなりました。また、出願はオンライン入力と郵送の併用により行うこととなりました。出願に当たっては以下の諸点についてご理解下さい。

なお、試験実施に関する詳細な情報は、出願受付後、出願者へ受験票とともに送付する「受験者心得」で通知します。

1. 出願方法：オンライン入力と郵送の併用について

オンライン入力フォームは、出願開始時に、教育学研究科の公式ウェブサイトに必要な事項を掲載します。その指示に従って、オンライン上で必要事項を入力、また研究計画書等をアップロードして下さい。入力、アップロードした内容を出力して、他の必要書類と併せて郵送により提出して下さい。必要書類の詳細は募集要項の「6. 提出書類等」の欄を参照して下さい。オンライン入力と郵送の双方を出願期間内（7月12日（月）～7月16日（金））に必ず行って下さい。

2. 受験場所および必要な機器について

試験は原則として、自宅、または自室からインターネットに接続して受験して下さい。これ以外の場所での受験も可能ですが、試験中に他者の入室が不可能で、過度の騒音のない場所で受験して下さい。

本試験を実施するオンライン会議システムおよびウェブページには、タブレットやスマートフォンからもアクセス可能ですが、受験者が解答を打ち込む必要がありますので、デスクトップ型かノートブック型のパーソナルコンピュータ（PC）から接続することをお勧めします。

PCのOSやウェブブラウザには制限はありません。Windows、Mac、Linux、Androidに対応しています。カメラ機能がPCに内蔵されていない場合は外付けのカメラ（マイク機能の付いたもの）を準備して下さい。

試験監督者が受験者の解答状況を随時確認いたしますので、解答用とは別にカメラ付き端末（スマートフォンやタブレット）を準備して下さい。

より詳細な情報は、受験票とともに送付する「受験者心得」で通知しますので、そちらを参照して下さい。

3. 第一次試験（外国語（英語）筆記試験）について

※本学の修士課程又は専門職学位課程を修了した者又は修了見込みの者、並びに身体教育学コース受験者は第一次試験を省略する。

受験者は、複数の受験者が同時に入室するオンライン会議システムに入って、監督者立ち会いの下で筆記試験を受験します。各受験者はPCを使って、研究科が指定するオンライン会議システムおよびウェブページにアクセスし、ウェブページに表示される問題を見て、解答フォームにPCから入力することにより解答します。

試験当日までに、各受験者が指定するウェブページにアクセスできるかどうかのテスト期間を設けます。テスト期間は受験票送付時に通知します。

4. 外国語（英語）筆記試験の形式、出題方針について

外国語（英語）試験は、例年研究科全体で共通の問題を出題し、独立の試験として実施してきました。今年度も独立の試験として実施いたしますが、出題はいずれもコースごとに行います。試験時間は2時間です。2020年度以前は英文和訳問題を出題していましたが、昨年度はオンライン方式の導入に伴い、出題方式は英文和訳に限らないこととしました。今年度は各コースの教育研究分野に即した出題を行い、出題方式は英文和訳に限らないこととします。過去の入学試験問題を用いて準備する場合はこの点に留意して下さい。ただし、スピーキング、リスニングに関わる出題は行いません。

5. 筆記試験時の英語辞書の使用について

募集要項にも記載した通り、筆記試験の実施に際しては英和辞典（母語が日本語以外の受験者の場合はこれに限らない。）1冊を用いることを許可します。その辞書は、印刷されたものに限ります。それ以外の辞書（電子辞書など）や、研究科から指定されたもの以外の文献や資料、研究科から指定されたもの以外のインターネットやソフトウェアを使用したりすることは不正行為となります。

6. 第二次試験（口述試験）について

第一次試験合格者に対して実施します。第一次試験合格者には第一次試験合格発表と同日、第二次試験（口述試験）の実施要領をe-mailによって通知します。出願時に、常時連絡の取れるe-mailアドレス（PCから送付するe-mailを確実に受信できるもの）を必ず記入して下さい。

口述試験は受験者1名と各コースの全教員により、研究科が指定するオンライン会議システムを使用して実施します。